

10.9 木 ▶ 11.25 火

平日：8時45分～20時

※但し、休館日は17時迄

土日祝：8時45分～17時

札幌市中央図書館 所蔵資料特別展

教育会と札幌の図書館

市立図書館ができるまで時計合の札幌図書館を運営していた団体とは？
教育会が所蔵していた江戸時代からの図書が語る

主催：札幌市中央図書館

札幌市中央図書館 1F 展示室

住所：札幌市中央区南22条西13丁目

アクセス：市電「中央図書館前」下車

お問合せ：011-512-7320

昭和25年5月11日、札幌に市立図書館が誕生しました。建物は前年に改修されたばかりの時計合です。開館に向けて準備された閲覧用図書の約7割は札幌市教育会の蔵書でした。

教育会は教師を中心とした団体で、全国各地に設立されました。札幌の教育会の歴史は明治24年に設立された北海道教育会にさかのぼります。会の活動の一つに図書館の経営・運営がありました。札幌では、区制が施行された明治32年に附属図書館が生まれています。附属図書館は数度の移転を経て明治44年に時計合に落ち着き、札幌の図書館として親しまれました。

戦後、教育会が解散するとその蔵書は札幌市に寄贈されました。その数は約1万5千冊にのぼり、一部の和書は平成15年にデジタル化され、札幌市中央図書館のデジタルライブラリーで見ることができます。本展は、これら教育会の旧蔵図書を通じて明治期から戦後まもない時期までの札幌の諸相を紹介するものです。

札幌市中央図書館所蔵資料特別展 「教育会と札幌の図書館」関係行事

■ 講演会

講師：谷口 一弘 元北海道武蔵短期大学教授

演題：札幌区教育会とその時代の図書館

一 北九条小学校、大通小学校及び教育会付設の図書館 一

明治44年の新聞「北海タイムス」に「札幌の三図書館」として、北九条小学校図書館と女子(大通)小学校校舎申文庫及び北海道教育会(のちの札幌区教育会)の図書館が紹介されています。当時これらの三図書館は札幌区民にどのように利用されていたのか。図書館設置の経緯と活動の実際を探ります。

日時：10月18日(土) 午後13時00分～15時00分(開場:12時30分)

会場：中央図書館3階 研修室A

講演会の申し込み

申込受付 9月12日(金)～10月16日(木) 先着40名

申込方法

【札幌市コールセンター】

(年中無休、8時00分～21時00分)へ電話・FAX・Eメールのいずれかでお申し込みください。

(電話 011-222-4894) (FAX 011-221-4894) (Eメール info4894@city.sapporo.jp)

※FAXで申し込まれる場合は、返信先のFAX番号をお知らせください。

申込必要事項

- (1) 行事名
- (2) 参加人数
- (3) 氏名(参加者全員分)
- (4) 郵便番号・住所(参加者全員分)
- (5) 電話番号(参加者全員分)
- (6) FAX番号またはメールアドレス(FAX、Eメールでお申し込みの方のみ)

■ 映画上映会

「疎開した40万冊の図書」

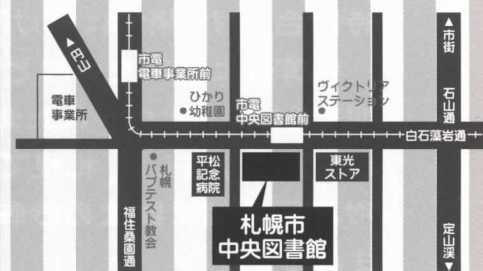
第二次世界大戦中、東京の日比谷図書館の図書を守るために奮闘した人々と文化継承の熱意をえがいたドキュメンタリーです。全国各地の図書館で絶賛上映されました。北海道初上映です。

日時：11月9日(日)

13時30分～15時10分(開場:午後13時00分)

会場：中央図書館3階 講堂

定員：150名(先着・当日直接会場へ)



札幌市中央図書館
Sapporo Municipal Central Library